

事前評価調査書

事業名	主要地方道大阪和泉南線 歩道の整備		
担当部署	都市整備部交通道路室交通対策施設整備グループ（連絡先 06 - 6944 - 9283）		
事業箇所	岸和田市西大路町		
事業概要	目的	歩道を拡幅整備することにより、歩行者の安全と交通の利便性の向上を図る。	
	内容	道路延長 L = 30m 歩道幅員 W = 2.2m（両側歩道） 整備延長 L = 60m(30m × 2=60m) 両側整備 整備内容 歩道の段差改善及び視覚障がい者誘導用ブロックの設置 河川改修に併せた歩道拡幅整備	
	事業費	全体事業費：約 1.38 億円 （内訳）調査費等約 0.05 億円 用地費 約 0.03 億円 工事費 約 1.30 億円	
		【事業費の積算根拠】 建設単価 1,667 千円/m （詳細設計の結果と近傍の施工単価による算出）	【工事費の内訳】 本土工 約 1.3 億円
	事業費の変動要因	【他事業者との協議状況】 河川管理者と計画協議済。 【今後の事業費変動要因の予測】 河川管理者との詳細協議の結果次第では、仮設工法の変更が発生する可能性がある。	
	維持管理費	4.1 百万円 / 年・km（国土交通省 費用便益マニュアル）	
	関連事業	二級河川 牛滝川 河川改修事業（同時期に施行）	
上位計画等の位置づけ	「大阪府都市基盤整備中期計画（案）改定版(H17.3)」 「大阪府歩道整備計画（案）H14.12」		
優先度	大阪府歩道整備計画（案）の「安全の確保」に向けた取り組みとして、「通学路や公共施設等の周辺の整備」方針に基づき、優先的に整備する必要がある。		
事業の進捗予定	事業段階ごとの進捗予定と効果	平成 21 年度：設計・工事着手 平成 22 年度：用地確保・工事施工 平成 23 年度：工事完成 事業実施済区間より部分効果発揮	
	完成予定年	平成 23 年度	

事業を巡る社会経済情勢	<p>当該道路状況</p> <p>当該路線は、市の中北部に位置し、箇所周辺は JR 久米田駅、小学校、病院、公園等が集積している地区であり、歩行者や自転車交通量が多いにもかかわらず、歩道が未整備のため非常に危険な状態</p> <p>交通センサスデータ</p> <p>自動車交通量： 7,322 台/12h（H17 年） 自転車交通量： 1,422 台/日（H17 年） 歩行者交通量： 608 人/日（H17 年）</p> <p>交通事故発生状況</p> <p>H14～H18(5 年間)： 12 件</p> <p>参考として、平成 16 年度の道路局所管補助事務提要における「特定交通安全施設等整備事業採択基準」の一部を記載する。</p> <p>歩道整備事業採択基準</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>当該区間の歩道整備前の車道部（路肩を含む。）幅員が原則として 5.5 m（一方通行の道路にあつては 3.5 m）以上あること。</li> <li>当該区間の 12 時間自動車交通量が 1,000 台（通学路にあつては 500 台）以上あること。ただし、1 日の歩行者交通量が 500 人を超える場合はこの限りではない。</li> <li>当該区間の 1 日の歩行者交通量が 100 人（通学路にあつては学童、園児が 40 人）以上あること。</li> <li>原則として整備後の歩道の有効幅員が 2.0 m 以上あること。</li> <li>当該区間の歩道整備後の車道幅員が原則として 5.5 m（一方通行の道路にあつては 3.5 m）以上確保できること。</li> </ul>
	<p>地元等の協力的体制</p> <p>地元市等から早期整備要望がなされている。</p>

事業効果の分析	費用便益分析	<p>具体的な便益内容</p> <p>・ B / C =</p> <p>便益総額 B =</p> <p>総費用 C =</p>	<p>備 考</p> <p>交通安全事業における費用便益分析手法は確立できていない。</p>
	その他の指標 (代替指標)		
	定性的分析	<p>&lt;安全・安心&gt; 歩車分離を図ることにより、歩行者・自転車の安全を確保する。</p> <p>&lt;活力&gt; 誰もが安心して社会参加できる生活空間の形成（歩行者交通等の利便性向上）</p> <p>&lt;快適性&gt; 交通利便性の向上</p>	

自然環境等への影響と対策	<p>歩道設置のため一部事業用地を取得するが、歩道の幅員は2.2mと小さいことから、自然環境への影響は少ないと考えられる。</p>
代替案との比較検討	<p>歩行者等の安全を確保するため、通行車両と歩行者等を物理的に分離できる歩道整備を適用する。</p>
その他特記すべき事項	

### 評価結果

#### 「事業実施は妥当」

当該路線は、市の中北部に位置し、箇所周辺はJR久米田駅、小学校、病院、公園等が集積しており、歩行者や自転車交通量が多いにもかかわらず、歩道が未整備のため非常に危険な状況であることから、現道を拡幅し歩道を整備することによって、歩行者の安全と交通の利便性の向上を図ることができる。

よって、「事業実施」とする。

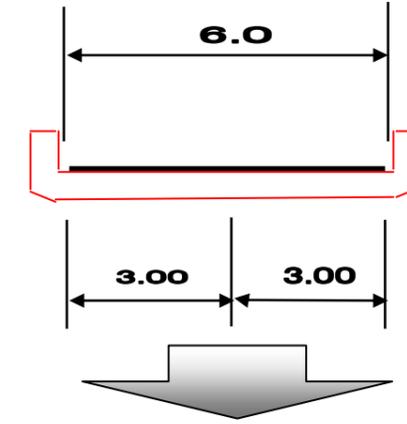
# 大阪和泉泉南線(歩道整備)事業概要図

事業箇所図

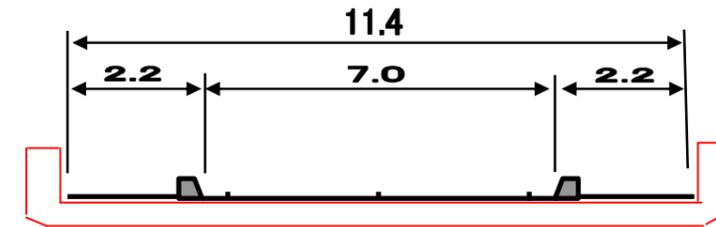


標準断面図

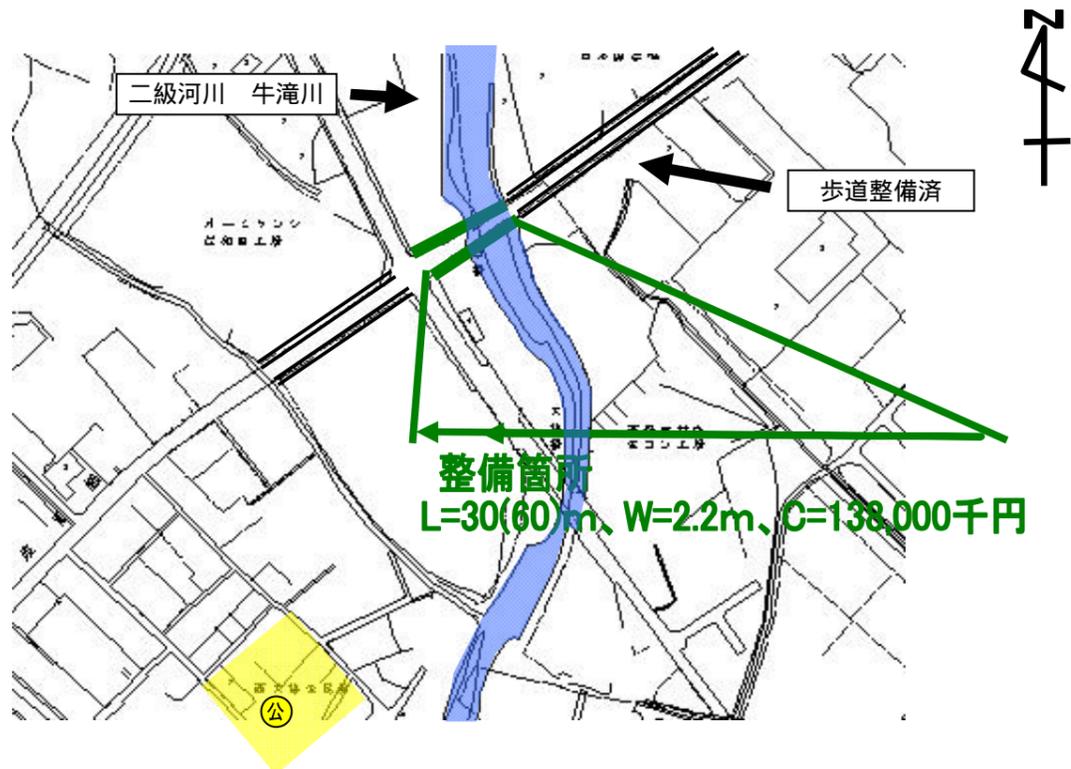
(整備前)



(整備後)



平面図



現況写真

